



WHEN POLITICS TURN VIOLENT

リンカン、ケネディ、レーガン…
トランプ前大統領暗殺未遂
米国史に影落とす「政治暴力」

近年、右派・左派の対立が激化し、政治的緊張がかつてなく高まっている米国。まさにそれを象徴するかのような重大事件が7月13日に起きた。ペンシルベニア州バトラーでの選挙集會中に、前大統領で今年の大統領選の共和党指名候補者であるドナルド・トランプ氏が銃撃され、耳を負傷したのである。なぜ人はこのような極端な暴力に走るのか。また、今の対立から米国が脱するすべはあるのか。米国史における「政治暴力」に詳しい専門家に聞く。



番組ホスト

ファリード・ザカリア

インド出身のジャーナリスト、国際問題評論家。イエール大学卒業後、ハーバード大学で博士号を取得。国際政治経済ジャーナル「フォーリン・アフェアーズ」編集長、ニュース週刊誌「ニューズウィーク」の国際版編集長を経て、2008年6月よりCNNで「Fareed Zakaria GPS」の番組ホストを務める。1964年、ムンバイ生まれ。

ゲスト

ジョアン・フリーマン

米国の歴史家。イエール大学教授で歴史とアメリカ学を教える。専門はアメリカ初期の政治と政治文化で、特に政治暴力・政治的分断に詳しい。2018年、南北戦争前の数十年間において米国議会の場で頻繁に起きていた暴力行為に焦点を当てた歴史書「The Field of Blood」を刊行している。



Listening Quiz

67 繰り返し命を狙われてきた権力者たち



Fareed Zakaria Andrew Jackson in 1835, Abraham Lincoln in 1865, JFK in 1963, RFK in 1968, George Wallace in 1972, Gerald Ford in 1975, Ronald Reagan in 1981*—this week’s assassination attempt on Republican nominee Donald Trump hearkens back to dark chapters of political violence in American history. Where does this come from? And where does it take us?

Joanne Freeman is one of the world’s top experts on this subject. She is a professor of American history at Yale, and she joins me now.

Welcome. So, people often say America has this unique history of political violence. How true do you think that is? Tell us what your sense of the...the history is.



Joanne Freeman Well, we do have a long history of political violence in all kinds of ways—obviously, assassination is one way—that goes all the way back. One of the glories of democracy is our freedom as a people to express our thoughts, to have free thoughts, to have free protest. And with that kind of freedom and with those kinds of rights, there are also vulnerabilities and there are also dangers.

And that’s particularly true at moments when people feel that the political infrastructure is shaky or national institutions don’t feel as though they’re up to the job. And one of them is the period leading up to the Civil War, and one of them is the fight for civil rights in the 1960s. When the people who are in power feel

assassination:
暗殺
attempt:
(未遂に終わった) 試み
Republican:
共和党の
nominee:
指名候補
hearken back to:
~を思い起こさせる、ほうふつとさせる
chapter:
(歴史などの) 特定の一時期
political violence:
政治暴力
subject:
主題、テーマ
Yale (University):
イエール大学
sense:
認識、理解

glory:
誉れとなるもの
vulnerability:
もろさ、脆弱(ぜいじゃく)性
political infrastructure:
政治的基盤、政治的インフラ
shaky:
ぐらつく、がたつく、不安定な
national institution:
国の制度・機関
be up to the job:
その仕事を務まる
lead up to:
<時が> ~の直前である
the (American) Civil War:
(アメリカ) 南北戦争
fight for civil rights:
公民権運動
be in power:
権力の座にある

*お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

ファリード・ザカリア 1835年のアンドリュー・ジャクソン、1865年のエイブラハム・リンカン、1963年のジョン・F・ケネディ、1968年のロバート・F・ケネディ、1972年のジョージ・ウォレス、1975年のジェラルド・フォード、1981年のロナルド・レーガン——共和党の大統領指名候補、ドナルド・トランプ氏に対する今週の暗殺未遂事件は、アメリカ史における政治暴力の暗黒の時期を思い起こさせます。このような暴力はどこから来るのでしょうか。また、この国の今後の行方にどう影響するのでしょうか。

ジョアン・フリーマン氏は、この問題に詳しい世界でも有数の専門家の一人です。イエール大学のアメリカ史の教授である彼女に今日はお越しいただきました。

番組へようこそ。さて、アメリカには他に例を見ないような政治暴力の歴史がある、とよく言われます。これはどの程度事実でしょうか。その歴史に対するあなたのお考えを教えてください。

ジョアン・フリーマン そうですね、確かにこの国には、政治暴力の長い歴史があります。その形はさまざまで——もちろん暗殺もその1つですが——その始まりはずっと昔にまでさかのぼります。民主主義の誉れというべき点の1つは、私たちが人民として自分の考えを自由に表現し、自由に考え、自由に抗議する自由を有しているということです。同時に、そうした自由、そうした権利が認められた社会には、弱点も危険もあるのです。

そして、それが特に顕著になるのは、人々が、政治的基盤が揺らいでいると感じるとき、あるいは、国の機関がしかるべき仕事を果たしていないと感じられるときです。その一例が南北戦争勃発の直前や、1960年代の公民権運動の時期です。権力の座にある人々が、自分たちの権利が何らかの形で奪われそうになっていると感じ、国の制度では自分た



7月13日、ペンシルベニア州パトラーでの選挙集会で演説中、銃撃を受けたドナルド・トランプ前大統領は右耳を負傷。シークレットサービスに抱きかかえられつつ、自力で歩いて会場を後にした。その際、拳を突き上げ、「Fight! (闘え!)」と繰り返し叫んだ(写真)

■ Andrew Jackson in 1835, Abraham Lincoln in 1865,...

1835年、第7代大統領アンドリュー・ジャクソンは任期中に銃撃未遂に遭う(犯人は二度銃撃を試みたが、いずれも不発)。1865年、南北戦争終戦から間もない4月14日、リンカンは観劇中に後ろから至近距離で銃撃され、死亡。

1963年のJFK(=ジョン・F・ケネディ)暗殺は有名だが、その5年後にはその弟で、民主党予備選挙を戦っていたRFK(=ロバート・F・ケネディ)も銃撃により暗殺された。

ジョージ・ウォレスは1972年の大統領選挙で民主党予備選挙に向けて選挙活動を行っていた際に銃撃を受け、下半身不随となる。なお、この銃撃犯に政治的意図はなかったとされる。

ジェラルド・フォードは大統領任期中の1975年9月5日、同年9月22日に、立て続けに暗殺未遂に遭うも、どちらも無傷で逃れた。

レーガン大統領は1981年に講演後、専用車に向かう途中で狙撃された。銃弾は大統領の心臓をかすめていたが、その後速やかに回復し、93歳まで生きた。